

# 多摩だより

相談員在室日：月・火・水

## ✿ 2026 年度 教職課程センター多摩相談室のご案内

- 活動内容：教職進路相談、採用試験に向けた講座の開催、教職関係図書資料の紹介・閲覧など・・・
- 参考書・過去問・教科書の他、教職に関する図書資料を多数揃えております。

### ✿ 新たに教職課程を履修される学生の皆さんへ ✿

教職課程センターは、将来の進路として教職をめざす学生の皆さんを支援・応援する場です。学校現場で豊富な教職経験をもつ相談指導員が、採用試験に向けた個別・グループ指導や進路相談などを、年間通じて実施しています。ぜひ一度、来室してみてください。多摩相談室では週3日相談指導員が在室して、皆さんの相談・指導にあたっています。

【月・水：柳原相談員 / 火：池田相談員】

教職課程センター多摩相談室からのお知らせを希望される方はこちらからご登録ください。



### ☺ 教員採用試験対策講座 ☺

2026 年度も「教員採用試験対策講座」を開催する予定です。

- \*5～7月 第1期教員採用試験対策講座
- \*10～12月 第2期教員採用試験対策講座
- \*3月 第3期教員採用試験対策講座

それぞれ、小論文、面接、教職教養の各講座を開催する予定です。

### ☆ 多摩相談室の主なイベント ☆

- (春学期)  
7月・・・教員採用二次試験対策講座
- (秋学期)  
12月・・・「合格者の話を聞く会」 など



(※これらはあくまで予定ですので、日程・内容は変更する場合があります。)

### ※ 2026 年度新 3 年生へ Web 履修カルテの確認について

※期限までに Web 履修カルテを入力完了してください。

- 【カルテ入力期限】～2026年4月13日(月) ・ ・ 期間厳守！期限後の入力不可
- 【教員確認後、カルテ閲覧可能期間】2026年5月20日(水)～

※紙版履修カルテを使用している方は、上記期限までに教職課程センター多摩相談室へ直接提出してください。

◇教職課程センターHP：[https://www.hosei.ac.jp/kyoushoku\\_katei/](https://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/)

◇(多摩)教職・資格まとめ HP：<https://www.hosei.ac.jp/tama/important/article-20260203145507/>

### ◎ 教職相談の申し込み、質問はこちらへ ★ 窓口へ来室、もしくはメールにて事前申し込み ★

メールは、公的な依頼文にふさわしい文体・体裁を考え、かつ以下の内容を必ず盛り込むようにして下さい。

- ① 氏名 ② 学部・学科 ③ 学年 ④ 学生証番号 ⑤ 面談希望時間 (第3希望まで) ⑥ 相談内容
- ⑦ メールアドレス (PCから受信可能なもの) を必ず記入してください。

\* 宛先 (教職課程センター多摩相談室)

[kyoshokutama3★ml.hosei.ac.jp](mailto:kyoshokutama3★ml.hosei.ac.jp) (★をアットマークに変えてください)

※メールアドレスが新しくなりました。

昨年度から相談室を利用されている学生の皆さんは、お手元の連絡先アドレスを変更お願いします。

※教職履修・単位  
に関する質問は、  
所属学部窓口へお  
願います。

相談指導員 2名

月・水曜日：柳原 忠夫

都内公立中学校に約40年勤め（管理職、非常勤を含む）、退職してから複数の大学で教職相談員をしています。専門教科は国語ですが、管理職時代に東京都教員採用試験の論文採点や面接官をした経験を活かし、教員採用試験合格を目指す皆さんのお手伝いをしていきます。試験を突破するためにはしっかり準備する必要がありますが、それより大切なのは教育に対する熱意、教員になりたいという意志でしょう。教育現場は、そういう気持ちを持った若手教員を強く求めています。教育は、これからの未来を担う生徒たちを育てるという素晴らしいやり甲斐のある仕事です。その道を志そうとする皆さんを心から応援し、力になりたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

火曜日：池田 玲子

私立中高で非常勤と専任の社会科教諭として25年間勤務し、生活指導部長や社会科主任等を務めました（内1年間は付属小学校で勤務）。両親の介護を機に退職後、「自分らしく働きたい」という思いから行政書士資格を取得し、個人事務所を開業しました。その後、行政書士会で出張授業を行う法教育推進委員会におりましたが、4月からは日本法育学会の所属となりました（「法育」とは法の理念や基本原則の学びを通して、民主主義社会に生きる為の考え方や生きる力を育む教育という意味です。ご興味のある方はお声がけください）。学校は本来楽しいところ。問題は山積みですが、元気いっぱいの子供達と一緒に未来を創る皆さんの一助になればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

平塚 眞樹（社会学部）

法政大学に勤務して約35年、このキャンパスで一緒に学んだ数多くの学生さんたちが、日本各地で小・中・高・特別支援学校の教員や様々な教育関係の仕事に就いて、今では私の仕事や学生の学びを助けてくれています。彼らから教えられるのは、学生時代に狭義の「勉強」だけでなく、地に足の着いた学内外の諸活動に自主的に関わり、多様な他者と出会いじっくり信頼関係を紡ぎながら、人間として耕される経験をつくるのが、教員採用試験にも教育者としての長い人生にも役立つのだということです。そんな豊かな大学生活づくりに、私たちも少しでも役に立てたらと思います。

永木 耕介（スポーツ健康学部）

某国立教育大学を2校、計28年ほど勤務していました。法政大学の皆さんはポテンシャルが高いので、“本気になれば”必ずや教員になれるし、その後も学校を引っ張っていくリーダー的存在になることでしょう。期待しています。

小田 佳子（スポーツ健康学部）

公立中・高（保健体育・英語）の学校現場で教員として15年（在外教育施設を4年間を含む）勤務し、その後、教員養成に関わる大学教員となって15年以上が経過しました。本学では5年目になります。学生の皆さんにとって教職課程は、履修科目も多く教育実習や介護等体験もあり大変ですが、何よりも教師（専門職）になるという志をもって挑み、学校現場の教壇に立ち、日本の教育と子どもたちの未来を支えてあげてほしいと思います。教育においては、教師としての専門的知識と技能を有することは当然ですが、まず子どもたちへの教育的愛情が不可欠だと考えています。そんな教師の卵である皆さんをしっかりと支え、少しでも多くの皆さんに教師となって教育現場で活躍してもらいたいと願っています。

鈴木 紗和子（火・木・金曜日）

教職課程センターの事務として週3日在室しております。センターに来る学生さん達は、参考書を開いて熱心に勉強をしたり、時に友達同士や先生方と楽しそうにお話をしたり、皆さん有意義な時間を過ごされています。そんな姿を陰ながら見守り、少しでも皆さんのサポートが出来ればと思っています。教職相談の面接予約や書籍の閲覧など、お気軽にセンターをご利用ください。

専任教員 3名

事務職員